05 ナノ空間を利用したバイオセンシング技術
産総研 化学プロセス研究部門 ナノ空間設計研究グループ　松浦 俊一

06 バイオマス由来物質への電解 CO_2固定化技術
産総研 化学プロセス研究部門 高分子機能応用研究グループ　河津 貴大

07 光化学反応による CO_2変換のためのプロセス開発と材料開発
産総研 化学プロセス研究部門 フロー合成システム研究グループ　玉置 悠祐

08 中部センターの紹介
産総研 中部センター 兼) マルチマテリアル研究部門　堀田 裕司

09 マルチマテリアル研究部門紹介
産総研 マルチマテリアル研究部門　千野 靖正

10 機械・熱・電気的ストレスを克服する高信頼性セラミックスの開発と DX 活用
産総研 マルチマテリアル研究部門 構造セラミック研究グループ　〇福島 学、周 游、中島 佑樹、NGO MINH CHU 、宮崎 広行 、平尾 喜代司
〃　〃　部材接合研究グループ　古嶋 亮一

11 高付加価値セラミックス製品に向けた鋳込み成形技術
産総研 マルチマテリアル研究部門 セラミック部材プロセス研究グループ　嶋村 彰紘

12 Cyber Physical Systems を支える強誘電体ナノ結晶制御技術
産総研 マルチマテリアル研究部門 次世代電子材料研究グループ　三村 憲一

13 資源循環を志向した異種金属接合材の解体技術
産総研 マルチマテリアル研究部門 部材接合研究グループ　川口 貴大

14 不純物元素除去によるアルミニウムのアップグレードリサイクル
産総研 サーキュラーテクノロジー実装研究センター 軽金属リサイクル研究チーム　村上 雄一朗

15 木質素材の微細構造制御による機能付与と成形加工
産総研 マルチマテリアル研究部門 木質複合材料研究グループ　阿部 充

16 生産性や生活の質の改善を目指すセンシング部材の開発
産総研 マルチマテリアル研究部門 センシング材料研究グループ　伊藤 敏雄

17 色が教える、水素の存在
産総研 マルチマテリアル研究部門 環境調和界面材料研究グループ　胡 致維

18 永久磁石のサーキュラーエコノミーに向けた取り組み
産総研 マルチマテリアル研究部門 高機能金属材料プロセス研究グループ　平山 悠介

19 熱の循環利用に向けた熱マネージメント材料の開発
産総研 マルチマテリアル研究部門 高機能磁性材料研究グループ　藤田 麻哉

20 CO_2を用いた固体酸化物形電解セルによる化学品原料製造技術開発
産総研 CCUS 実装研究センター 化学品製造研究チーム　鷲見 裕史、〇百相 瑞貴

21 機能化学研究部門の紹介
産総研 中国センター 兼) 機能化学研究部門　水門 潤治

22 樹脂・ゴム材料の材料診断技術を支える中国センター有機・バイオ材料拠点
産総研 機能化学研究部門　増田 光俊

23 美と健康を支えるコロイドの材料診断
産総研 機能化学研究部門 有機材料診断研究グループ　宇山 允人

24 3D プリンタを活用したゴム材料の資源循環型ものづくり
産総研 機能化学研究部門 材料インテグリティ研究グループ　長谷 朝博

25 セルロース系資源の循環利用と高機能ナノファイバー材料の開発
産総研 機能化学研究部門 セルロース材料研究グループ　〇石丸 裕也、中山 超

26 生物機能を活用した化学品開発と分子評価技術
産総研 機能化学研究部門 バイオ変換研究グループ　藤井 達也

27 多角的分析によるマテリアルリサイクル材の劣化評価
産総研 サーキュラーテクノロジー実装研究センター プラスチックマテリアルリサイクル研究チーム　伊藤 祥太郎

28 テクノナレッジ講座～最先端技術を学び、現場で活かす～
AIST Solutions プロデュース事業本部 第二事業部 テクノナレッジ事業グループ　浅沼 俊英

29 オープンイノベーション特化型 AI エージェント　Bibbidi（ビビディ）
AIST Solutions プロデュース事業本部 第二事業部 デジタルプラットフォーム事業構想グループ　小林 弥栄

30 AI ready なデータレイク「AlcheMia」：メタデータを資産に変えるマテリアル R&D DX
AIST Solutions プロデュース事業本部 第二事業部 マテリアル DX 事業構想グループ　中野 学

アクセス

ホテルモントレ仙台
（3階　翠鳴館・ルツェルナ）

〒980-0021
宮城県仙台市青葉区中央 4 丁目 1 番 8 号

地下鉄「仙台」駅 南 2 番出口より徒歩 1 分
JR「仙台」駅西口より徒歩 3 分

お問い合わせ

ご不明な点は下記の連絡先へお問い合わせください

国立研究開発法人産業技術総合研究所
東北センターイベント事務局
M-t-3sympo-ml@aist.go.jp

イベント詳細はこちら ▶

https://www.aist-solutions.co.jp/events_webinars/symposium_20261203/?utm_source=flyer&utm_medium=print&&utm_campaign=symposium_20261203



産総研中国センター・中部センター・東北センター合同シンポジウム

地域企業と共創するサステナブル社会

～地域産業の発展を支える資源循環技術・機能部材・材料診断技術～

主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所 中国センター・中部センター・東北センター
共催：経済産業省東北経済産業局、株式会社 AIST Solutions
後援：一般社団法人東北経済連合会、一般社団法人東北ニュービジネス協議会、一般社団法人みやぎ工業会

2026 [THU] 12.3

12:30▸17:25

交流会（事前申込・会費制）17:25▸18:55

ホテルモントレ仙台
（3階 翠鳴館・ルツェルナ）

本イベントは**対面開催のみ**となります

参加登録はこちらから

登録締切 **11月27日（金）**

先着 100 名：定員に達し次第締切とさせていただきます
交流会の申込みは、11 月 19 日（木）17 時まで
交流会費：1 名につき 5,000 円（税込）

プログラム

12:30-12:50 ポスターセッション

13:00-13:05 開会挨拶
産総研 材料・化学領域長　遠藤 明

13:05-13:10 ご挨拶
東北経済産業局長　竹田 憲

13:10-16:25 講演

16:25-17:25 ポスターセッション

17:25-18:55 交流会

産総研 AIST SOLUTIONS
産総研グループ

開催趣旨

産業技術総合研究所では、東北センターは「資源循環技術」、中部センターは「機能部材」、中国センターは「材料診断技術」をそれぞれ看板研究と位置づけ、材料の開発、分析・評価（診断）から資源循環までを視野に入れた次世代材料技術の研究開発に取り組んでいます。これら 3 拠点では地域を超えて連携し、それぞれの技術シーズや企業支援機能を結集することで、地域企業との共創によるものづくりの推進に寄与することを目的とした合同シンポジウムを昨年度より開催しています。第 2 回となる今年度は、「地域企業と共創するサステナブル社会」をテーマに、宮城県仙台市で開催します。3 拠点の研究成果や企業支援の取組を紹介するとともに、参加企業との交流を通じて、新たな技術開発や事業化の可能性を共に考える機会を提供します。
※本シンポジウムは、産総研イノベーションセミナーを兼ねて開催します。



プログラム

12:30 ポスターセッション（3階ルツェルナ）

13:00 開会挨拶、ご挨拶（3階翠鳴館）

13:10 基調講演

東北地域の資源循環を含む GX 施策について

木野 正登　東北経済産業局 資源エネルギー環境部 部長

13:30 講演①

産総研および東北センターの紹介

山口 有朋　産総研 東北センター 所長　兼) 化学プロセス研究部門 研究部門長

13:40 講演②

中部センターの紹介

堀田 裕司　産総研 中部センター 所長　兼) マルチマテリアル研究部門 研究部門長

13:45 講演③

中国センターの紹介

水門 潤治　産総研 中国センター 所長　兼) 機能化学研究部門 研究部門長

13:50 休憩（10 分）

14:00 講演④

サーキュラーテクノロジー実装研究センターにおける ケミカルリサイクルの取り組み

日吉 範人　産総研 サーキュラーテクノロジー実装研究センター
プラスチックケミカルリサイクル研究チーム 研究チーム長

再生プラスチックの利用拡大には、高品質な再生材の確保が不可欠です。高品質な再生材の製造に向けた縮合系プラスチックのケミカルリサイクル技術の開発について、サーキュラーテクノロジー実装研究センター・プラスチックケミカルリサイクル研究チームの取り組みとともに紹介します。

14:20 講演⑤

永久磁石のサーキュラーエコノミーに向けた取り組み

平山 悠介　産総研 マルチマテリアル研究部門 高機能金属材料プロセス研究グループ 研究グループ長

永久磁石需要の増大に伴う希土類資源の制約への対応を目的として、本グループではマテリアルリサイクルを前提とした磁石材料・プロセスの開発に取り組んでいます。これらの研究成果に加え、LCA（ライフサイクルアセスメント）による環境負荷評価についても紹介します。

14:40 講演⑥

リサイクルプラスチックの信頼性を向上させる材料診断技術

青柳　将　産総研 機能化学研究部門 総括研究主幹

リサイクルプラスチックの品質ばらつきは高付加価値利用の大きな課題です。本講演では、樹種や添加剤の迅速分析、劣化の進行を知る複合分析・統合解析、AI による物性予測など、再生材の素性を可視化し適切な利用を支援する材料診断技術について紹介します。

15:00 休憩（10 分）

15:10 講演⑦

ナノ空間を利用したバイオセンシング技術

松浦 俊一　産総研 化学プロセス研究部門 ナノ空間設計研究グループ 研究グループ長

ナノ空間材料と酵素を組み合わせることで、酵素の安定性や反応性を高める研究を進めています。グルコースや乳酸などを対象とした高性能バイオセンサーの開発を中心に、高感度 PCR 技術の研究事例についてもご紹介します。

15:30 講演⑧

機械・熱・電気的ストレスを克服する 高信頼性セラミックスの開発と DX 活用

福島　学　産総研 マルチマテリアル研究部門 構造セラミック研究グループ 研究グループ長

次世代パワーエレクトロニクスに不可欠な高信頼性セラミックスを対象に、機械・熱・電気的ストレスを克服する材料設計と信頼性評価技術を紹介します。また、微細組織画像を活用した AI 解析事例を通じて、DX による材料開発の高度化と新たな知見創出の可能性についても概説します。

15:50 講演⑨

用途に応じたナノセルロース材料の開発

榊原 圭太　産総研 機能化学研究部門 セルロース材料研究グループ 研究グループ長

ナノセルロースは、原料や製造法によって構造や物性が大きく異なり、用途ごとに求められる特性も異なります。本講演では、用途ニーズを起点に、「作る・知る・使う」を一体化した材料設計と、AI・インフォマティクスを活用した研究開発に関する最近の事例を紹介します。

16:10 講演⑩

テクノナレッジ講座 ～最先端技術を学び、現場で活かす～

田中 章博　AIST Solutions プロデュース事業本部 第二事業部 テクノナレッジ事業グループ アソシエイト

16:25 講演終了

16:25 ポスターセッション（3階 ルツェルナ）

17:25 閉会

17:25 交流会（3階 ルツェルナ）

ポスターセッション

01 産総研および東北センターの紹介
産総研 東北センター 兼) 化学プロセス研究部門　山口 有朋

02 希薄な CO_2 を分離回収するイオン液体膜の開発
産総研 化学プロセス研究部門 分離材料研究グループ　金崎 悠

03 ラボオートメーションによる新規材料開発の高速化
産総研 化学プロセス研究部門 有機資源変換研究グループ　峯 真也

04 サーキュラーテクノロジー実装研究センターにおけるケミカルリサイクルの取り組み
産総研 サーキュラーテクノロジー実装研究センター プラスチックケミカルリサイクル研究チーム　日吉 範人